

CAD/CAM冠でいいのか？

保険診療と生体親和性(体に良いもの) どちらを選択するか？

2017年-2018年にかけて、保険導入された、CAD/CAM製作の被せ物の不思議



部分金属を白くするには
保険が効かない。
このケースこそ、
メタルフリーなのに。。。



全周、削ると保険がきく
全周はできれば削りたくなが。。



全周削らないといけないこともあるが、
それでプラスチックを入れるのはリス
キーである。。。この症例はセレック

吉田歯科クリニック、院長 吉田健です。

吉田歯科クリニックは、2018年10月より、ほぼ全ての来院者の皆様に唾液検査を実施する予定です。詳細はホームページもしくは別紙を参照ください。

今回はそのお話ではありません。

2017年4月より、厚生省で認可されたCAD/CAM冠(コンピュータで作成した被せ物) の不思議について、お伝えしたいのです。

厚生省の認可されたCAD/CAM冠は、ハイブリッドセラミックと称したプラスチックを用いています。(製品名GCセラスマート) プラスチックは金属よりアレルギーや金属蓄積被害、健康被害が少ないものですが、プラーク(歯垢)は付きやすく、割れますし、変色もします。もちろん吸水しますので、数年で劣化します。金属に変わってプラスチック？さらに不思議なことに、保険給付外のセラミックブロックよりも原材料費、コストが高いのです。海外の歯科医療に金銀パラジウム合金が使用されていないことは有名な話ですが、海外のように金属をしないが、仮歯材料になるものが、本歯として成立していることが不思議で仕方ありません。

当院にある、CEREC Systemでは、セラミックも保険のセラスマートも作成可能です。だからこそ、両方を削ってわかるのです。保険給付で7000円のプラスチック製被せ物を装着することと、金属冠、セラミック冠を装着した後の予測が。。。

もちろん、個々の歯並び、歯列のアーチ、かみ合わせの状態の精査のうえ、適応を確認する必要になることは言うまでもありません。担当ドクター、歯科衛生士、TCとよく相談の上選択されることを望みます。



	金属用 ハイブリッドレジン	松風ブロック HD (松風)	セラスマート (ジーシー)	LAVA Ultimate (3M ESPE)
シェード	—	A1/ A2/ A3/ A3.5/ W2/ B3	A2/ A3/ A3.5 (A1/ B1/ B2 近日発売)	A1/ A2/ A3/ A3.5
フィラー含有量 (ナノセラミック含有量)	70% 程度	60%以上	71%	90%
曲げ強度 (MPa)	75 ~ 145 程度	191	240	204
ビッカース硬度 (Hv)	42 ~ 74 程度	88	80	112.1

	Empress	e.max Press	e.max CAD	CEREC Blok	Y-TZP
	Leucite	Lithium disilicate	Lithium disilicate	Feldspar	Zirconium oxide
Flexural strength (MPa)	160	400	360	154	900
Vickers hardness (MPa)	6200	5800	5800	5600	13,000
Fracture toughness (MPa m ^{1/2})	1.2	2.7	2.5	1.37	5.5





